

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年50週 (12月2週 12/7~12/13)

2015年11月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、インフルエンザ病原体検出情報
定点医療機関コメント
感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、溶血性レンサ球菌感染症、インフルエンザ、マイコプラズマ感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(31)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、つつが虫病(2)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、急性脳炎(2)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(7)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(7)、梅毒(1)

2015年11月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

RSウイルス感染症(図1)

50週の小児科定点当たり報告数は2.53と、先週に引き続き2003年以降の最高値(2015年49週の2.36)を上回っています。49週430人 50週460人(うち0歳177人、1歳142人)で、2歳未満の報告数が全体の69.3%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

<注目すべき感染症>RSウイルス感染症(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2015/idwr2015-37.pdf>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

50週の定点当たり報告数は3.12、49週518人 50週567人(1.09倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

感染性胃腸炎(図3)

50週の定点当たり報告数は9.38、49週1,431人 50週1,708人(1.19倍)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

伝染性紅斑

50週の定点当たり報告数は0.82、49週156人 50週150人(0.96倍)です。

インフルエンザ

50週の定点当たり報告数は0.24、49週29人 50週47人です。2015/2016シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09)及びB型(山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】<速報>2015/16シーズン初めに保育園集団かぜ

から分離されたAH1pdm09亜型インフルエンザウイルス 愛知県

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/6016-pr4291.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/index.html>

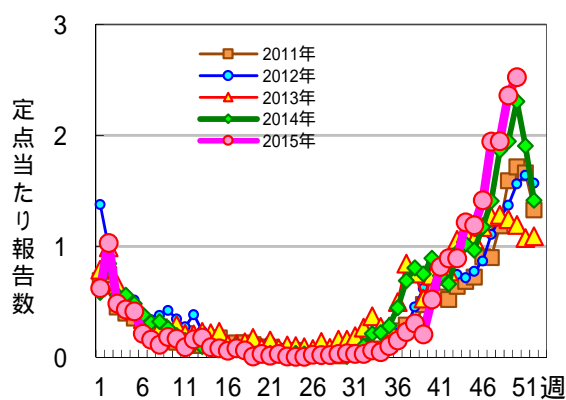


図1 RSウイルス感染症

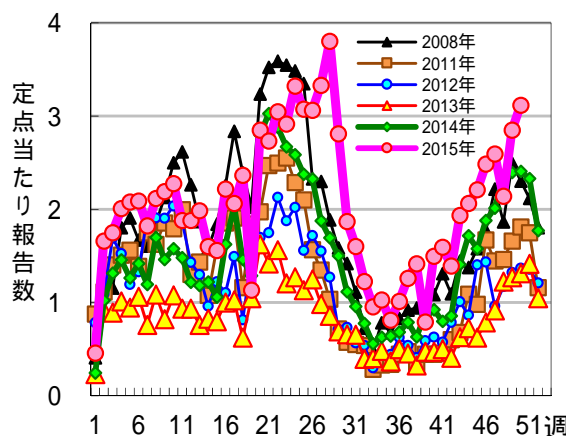


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

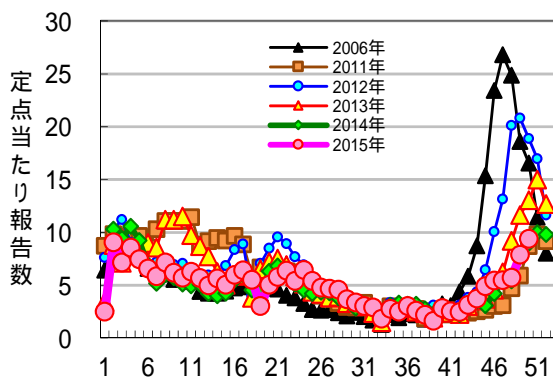


図3 感染性胃腸炎

病原体検出情報 2015年疾患別ウイルス検出速報 (2015年12月15日現在)

	感染性 胃腸炎	手足口病	ヘルパン ギーナ	咽頭結 膜熱	流行性 角結膜 炎	無菌性 髄膜炎	脳炎・ 脳症	* インフル エンザ	* 麻疹・ 風疹
患者数	222	106	50	11	22	33	30	9(193)	13(8)
CV-A6	-	50	4	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	8	26	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	17	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	3	-	-	-	-	3	-	-	(1)
CV-B3	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B4	-	1	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	1	-	-	-	-	3	-	-	-
E-11	-	-	-	-	-	1	-	-	-
E-18	2	-	2	-	-	2	-	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
HPeV-3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	-	4	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	1	(132)	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	(4)	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	(20)	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	2	-	1
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	25	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	1	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	14	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	54	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	3	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	5	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	-	1	4	-	-	-	-	-
Ad-3	6	-	-	4	1	-	-	(1)	-
Ad-4	-	-	-	2	1	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-6	1	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	2	-	-	-	-	-	2(1)
HSV-1	-	-	-	-	2	-	-	(1)	-
検査中	41	4	-	-	1	1	3	5	-
陰性	66	26	15	1	17	21	24	(36)	10(6)

*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果、()内は2014/2015シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、

FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、

HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、

NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型、Rota A: ロタウイルスA、SV: サポウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

RS ウイルス感染が多いようです。(日齢 26 ~ 2 歳)

溶連菌感染症も多いです。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

RS 感染症あり

【一宮市 後藤小児科医院】

RS 11 名と目立ちました。

A 群溶連菌は 1 名でした。

胃腸炎目立ちますが、今のところノロは出ていません。

【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎増加しています。

溶連菌感染症の流行も続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

A 型インフル(H3N2) 2 例あり

伝染性紅斑、ムンプスが目立ってきました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

溶連菌 5 歳男

胃腸かぜが多い様です。

【清須市 丹羽医院】

14 歳女 インフルエンザ B 型

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

市内の小学校、保育園で流行性耳下腺炎の流行がみられます。

マイコプラズマ感染症多いです。

その他溶連菌、伝染性紅斑等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

感染性胃腸炎多し。

ヘルパンギーナ、手足口病もみられました。

【豊明市 こども元気クリニック】

胃腸炎が流行していました。

【日進市 みやがわクリニック】

入院では RSV が多いままで。

アデノ、溶連菌もちょこちょこあるようです。

インフルエンザ 小児 1 名 A 型

【春日井市 春日井市民病院】

胃腸炎多数

ムンプス少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RS ウイルスとマイコプラズマが目立ちます。

【小牧市 小牧市民病院】

RS 感染が相かわらず多く、溶連菌感染、感染性胃腸炎(ノロが多い)、伝染性紅斑なども目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎がまだ多く、伝染性紅斑もありました。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザ A 42 歳女

【半田市 ひいらぎこどもクリニック】

インフルエンザ A 型 3 名

【南知多町 医療法人大岩医院】

4 歳男 マイコプラズマ

感染性胃腸炎多いです。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

感染性胃腸炎が多いです。

ノロウイルス胃腸炎 1 名(12 歳)

サルモネラ + 病原大腸菌 O25 1 名(4 歳)

保育園で食中毒

RS ウイルス感染症 4 名

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

RSV(+) 1歳男 1歳女2名 2歳男2名

StrepA(+) 2歳女 9歳男

E. coli(O25) 11か月女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ核酸 8歳男 9歳男

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザA型 4名

溶連菌感染が目立ちます。

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

マイコプラズマ 7歳男

アデノ(咽)

3歳男2名 5歳男 6歳男 6歳女

嘔吐、下痢が流行中

RSウイルスが散発

インフルエンザA 4名(1名はH3N2確認)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

RSV、アデノウイルス、溶連菌感染症多数認められます。

手足口病散見されます。

3歳男 病原性大腸菌O8

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

RSウイルス感染症、感染性胃腸炎が目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

ムンプス流行中

【知立市 宮谷クリニック】

アデノウイルス感染症 1歳男 4歳男

マイコプラズマ肺炎 7歳男2名 9歳男

嘔吐下痢症が多い

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

感染性胃腸炎も増えてきました。

RSウイルス感染症も流行っています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も多いです。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

マイコプラズマ 6歳女

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

病原性大腸菌O18 7歳女

病原性大腸菌O25 4歳男

【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年12月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150521.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2015年50週報告数			2015年総計(1～50週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	15	3	3	669	161	162
豊田市	1		1	55	13	17
豊橋市	1			67	11	21
岡崎市				37	13	4
一宮	2	1	1	99	37	26
瀬戸	1			147	24	71
半田	1	1		36	11	3
春日井	3	2		89	20	20
豊川				40	14	7
津島	2	1		98	16	35
西尾	1		1	31	9	7
江南				53	10	25
新城				19	4	7
知多	1	1		44	12	13
清須				37	16	5
衣浦東部	3	1		85	22	24
合計	31	10	6	1,606	393	447

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	3歳	男	- / -	12 / 1	12 / 5	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
2	名古屋市	15歳	女	12 / 1	12 / 3	12 / 8	O26、VT1(+)
3	豊田市	24歳	男	11 / 29	12 / 2	12 / 5	O26、VT1(+)
4	瀬戸	71歳	女	11 / 30	11 / 30	12 / 3	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

つつが虫病（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊田市	75歳	男	愛知県 豊田市
2	新城	77歳	男	愛知県 豊橋市

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	55歳	男	腸管アメーバ症	経口	国内
2	名古屋市	45歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊橋市	71歳	男	その他	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	男	病原体不明	国内
2	名古屋市	0歳	男	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	一宮	70歳	女	古典型

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	28歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	20歳	男	AIDS	性的接触	国内
4	名古屋市	33歳	男	AIDS	性的接触	国内
5	名古屋市	42歳	男	AIDS	性的接触	国内
6	名古屋市	45歳	男	AIDS	性的接触	国内
7	一宮	45歳	男	AIDS	性的接触	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	知多	65歳	男	無	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	71歳	女	無	国内
2	名古屋市	80歳	男	不明	国内
3	名古屋市	46歳	女	無	国内
4	岡崎市	69歳	男	不明	国内
5	瀬戸	41歳	男	無	国内
6	瀬戸	80歳	女	不明	国内
7	知多	63歳	男	不明	不明

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	一宮	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2014～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2015年11月			2015年	2014年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	70 (20)	58 (9)	128 (29)	1,540 (427)	1,867 (531)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)	10 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	0 (0)	1 (0)	1 (0)	93 (20)	132 (30)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (43)	E型肝炎	0	1	1	8	1
	A型肝炎	0	0	0	10	8
	コクシジオイデス症	0	0	0	1	0
	つつが虫病	0	0	0	0	2
	デング熱	0	2	2	17	11
	マラリア	0	0	0	2	1
	ライム病	1	0	1	1	0
	レジオネラ症	3	0	3	94	61
五類 (22)	アメーバ赤痢	2	3	5	56	68
	ウイルス性肝炎	2	0	2	15	13
	内訳 B型	1	0	1	10	12
	内訳 その他	1	0	1	5	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*	5	1	6	74	19
	急性脳炎	0	0	0	25	18
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	7	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	11	18
	後天性免疫不全症候群	1	5	6	93	98
	内訳 無症候性キャリア	0	1	1	56	65
	内訳 AIDS	0	4	4	33	32
	内訳 その他	1	0	1	4	1
	ジアルジア症	0	0	0	4	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	14	16
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	3	13	140	122
	水痘(入院例に限る。)*	2	0	2	15	10
	梅毒	2	8	10	102	112
	内訳 無症候	0	3	3	37	50
	内訳 早期顕症	2	3	5	57	56
	内訳 晩期顕症	0	1	1	7	6
	内訳 先天梅毒	0	1	1	1	0
	播種性クリプトコックス症*	1	0	1	9	2
	破傷風	0	0	0	8	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1
	風しん	0	0	0	13	21
	麻しん	0	0	0	0	46
	総 計	101	83	184	2,361	2,680

* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2015年11月			2015年 累計		2014年 総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					合計	合計		合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	30	26	56	779	1,367	900	1,591
		女	34	19	53	588		691	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	7	12	19	205	556	169	643
		女	19	15	34	351		474	
	尖圭コンジローマ	男	8	11	19	203	304	220	347
		女	8	3	11	101		127	
淋菌感染症	男	17	25	42	452	520	577	657	
	女	5	2	7	68		80		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		66	11	77	897	1,090		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		4	0	4	82	59		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	1	4		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	-	0		

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年11月			2015年 累計		2014年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体		愛知県 全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年5月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。

